

「福島第一原子力発電所第1～4号機に対する「中期的安全確保の考え方」に基づく施設運営計画に係る報告書(その1)(改訂2)」
添付資料「1. 原子炉圧力容器・格納容器注水設備」の記載内容に関する正誤表について

ページ番号	変更前	変更後
1-5	<p>(4) 電源</p> <p>原子炉注水系の電源構成図を図1-8に示す。常用高台炉注水ポンプ、常用高台原子炉注水系ポンプの圧力ならびに注水流量の監視に用いている監視カメラ(事務本館海側駐車場)、注水流量の監視に用いている計装用計器の電源およびタービン建屋前に設置した1～3号機原子炉注水流量監視カメラは所内共通M/C(1A)から受電し、所内共通M/C(1A)は夜ノ森1号線から受電している。所内共通M/C(1A)は、夜ノ森1号線が停電した場合、手動による受電切替により、夜ノ森2号線、大熊2号線、電源車、5号機および6号機非常用D/Gからの受電が可能となっている。純水タンク脇炉注水ポンプは、仮設1/2号M/C(B)から受電しており、仮設1/2号M/C(B)は大熊線2号線から受電している。仮設1/2号M/C(B)は大熊線2号線が停電した場合、手動による受電切替により、東北電力東電原子力線、夜ノ森1・2号線、電源車、5号機および6号機非常用D/G(5号機2基、6号機2基の計4基)からの受電が可能となっている。</p>	<p>(4) 電源</p> <p>原子炉注水系の電源構成図を図1-8に示す。常用高台炉注水ポンプ、常用高台原子炉注水系ポンプの圧力ならびに注水流量の監視に用いている監視カメラ(事務本館海側駐車場)、注水流量の監視に用いている計装用計器の電源およびタービン建屋前に設置した1～3号機原子炉注水流量監視カメラは所内共通M/C(1A)から受電し、所内共通M/C(1A)は夜ノ森1号線から受電している。所内共通M/C(1A)は、夜ノ森1号線が停電した場合、手動による受電切替により、夜ノ森2号線、大熊2号線、電源車、5号機および6号機非常用D/Gからの受電が可能となっている。(改行)</p> <p>純水タンク脇炉注水ポンプは、仮設1/2号M/C(B)から受電しており、仮設1/2号M/C(B)は大熊線2号線から受電している。仮設1/2号M/C(B)は大熊線2号線が停電した場合、手動による受電切替により、東北電力東電原子力線、夜ノ森1・2号線、電源車、5号機および6号機非常用D/G(5号機2基、6号機2基の計4基)からの受電が可能となっている。</p>
1-7	<p>今後については、温度計の不確かさ(20以内)を踏まえても原子炉圧力容器底部温度を概ね100以下に維持できるように、原子炉圧力容器底部温度について約80以下に維持することを目標に注水量を管理していく。</p>	<p>今後については、温度計の不確かさ(20以内)を踏まえても原子炉圧力容器底部温度を概ね100以下に維持できるように、原子炉圧力容器底部温度について約80以下に維持することを目標に注水量を管理していく。また、燃料の一部が原子炉格納容器に移行している可能性を考慮して、原子炉格納容器内温度についても合わせて確認することとし、原子炉格納容器内温度に全体的に著しい温度上昇傾向がないように注水量を管理していく。(文章を追記)</p>